全東京写真連盟
撮影会写真コンクール

入賞作品集

審査対象 高幡不動尊と着物撮影会
撮影日　2019 年11月24日

審査日　2020年1月12日
審査員 HARUKI先生

金　賞
「私も撮れルンです」
鵜飼 典彦 様
モデル 大野 亜未

審査員 HARUKI先生　講 評

女性らしくやさしく手を添えるようにカメラを持ち、画面を覗いているという撮影会での逆撮影シーン。本来はカメラマンさんの方に目線が向けられていたり、あるいはコチラを意識してのポーズを取っているのがストレートなのですが、写真を撮る側に夢中になっているところを脇から抑えたのが新鮮です。モデルさんの表情や仕草がとっても自然で良いですネ～！！　カメラを持っているために着物の袖から覗いた腕がライトセクシーなのも良いです（笑）　かつてのＣＭ「写ルンです」と「私にも撮れます」のミックスされたタイトルもユーモラスでイイですね。画面構成も完璧でプリントがとっても美しかったことも勝因となりました☆

銀　賞
「believe」
高橋　敏之 様
モデル 由紀子

審査員 HARUKI先生　講 評

「凜」という言葉が似合う写真ですね。手にした扇子のピンクの桜のような柄が着物や唇の色とがうまくマッチしています。
パッと見るとモデルさんの表情が無表情のようにも見えるのですが、顔の半分を扇子（傘？）で隠したことによって本当は感情の昂ぶりや深い想いのようなモノがあるのではないだろうか？という見る側にとって “秘めたる感情” のように思わせる仕掛け作用が働いております。他にも同じシチュエーションで撮られた作品がありましたが、その中でコチラの作品を銀賞に選ばせていただいた理由のひとつにはモデルさんの唇が映っていたことが大きいです。いろいろな表現方法があって楽しいのですが、人物写真表現のうえでモデルさん（人物全般も）の顔で「目」と「口元」は重要な要素であることは変わりません。

銅　賞
「あの日の約束」
門間 正之 様
モデル 本間 早紀

審査員 HARUKI先生　講 評

今回このモデルさんを被写体にされた応募がかなりたくさんあった中での入賞になりました。タイトルからは子供時代に撮影した少女が大人になってもう一度撮影したおじさんの心境のようなストーリーが読み取れますね（笑）。85mmあたりの開放ボケ描写が美しい王道の写真ですが、画面左側がもう少しあるとさらに良かったかと思います。品が良くて少女のようなあどけない微笑みに人柄の良さや優しさのようなモノを感じさせてくれるモデルさんですね。きっと素敵な家庭で真っ直ぐに育ってこられたんじゃないでしょうか（笑）。

入　選
「大人の休日」
小倉 良二 様
モデル 橘 環

入　選
「秋風と眼差し」
小野寺 基之 様
モデル 星邨 雪乃

入　選
「振り向いて」
豊田 光司 様
モデル 橘 環

入　選
「艶やかに」
中牟田 剛 様
モデル 茅原田 真衣

入　選
「かくれんぼ」
前田 佳宏 様
モデル 南 りこ

佳　作
「流し目の女」
荒井 秀雄 様
モデル 橘 環

佳　作
「手水所に咲く」
小幡 大輔 様
モデル 南 りこ

佳　作
「紅の舞」
関島 邦敏 様
モデル 橘 環

佳　作
「もみじの想ひで」
髙橋 壯太 様
モデル 橘 環

佳　作
「落葉の庭」
田沼 靖信 様
モデル 安桜 はるな

佳　作
「梅と桜」
寺島 弘行 様
モデル 由紀子

佳　作
「煙管を吸う女将さん」
徳田 進一 様
モデル 橘 環

佳　作
「明るい未来」
星野 祐一 様
モデル 大野 亜未

佳　作
「光と影」
堀内 康志 様
モデル 茅原田 真衣

佳　作
「凛とした横顔」
松岡 達雄 様
モデル 茅原田 真衣

次　点
「横顔」
石川 玲 様
モデル 茅原田 真衣

次　点
「一枚のもみじ葉」
小林 弘 様
モデル 安桜 はるな

次　点
「もみじだらけ」
斉藤 貴生 様
モデル 月寒 うさぎ

次　点
「情念」
芝本 勲 様
モデル 橘 環

次　点
「秋の装い」
内藤 勝之 様
モデル 茅原田 真衣

次　点
「振り向いて」
中山 静男 様
モデル 星邨 雪乃

次　点
「朗らかさん」
中山 昌幸 様
モデル 茅原田 真衣

次　点
「裏庭」
日向野 遼平 様
モデル 大野 亜未

次　点
「艶麗」
藤本 健介 様
モデル 橘 環

次　点
「紅葉に染まる塔の前」
山本 晥治 様
モデル 本間 早紀

総評

湯島聖堂撮影会の金賞作品のコメントにも書きましたが画面全体のバランスを整えることも最終的な作品を構成するための重要な要素です。
大撮影会ではなかなか思った通りの良いポジションを取ることが難しい場合もあるかと思います。そんな場合には最終的なプリントの段階でのトリミングもアリだと考えています。
かといって広めに撮っておいてあとから好きなようにトリミングするのも良いのかと言うとNOです。それは都合良いようにやるのではなくて、あくまでも本来の撮影時にどうしても適わなかった場合や、撮影後に気付いた方策としての話しですのでくれぐれも勘違いなさらないでくださいね（笑）

３年くらい前から審査を担当させて頂いておりますが、皆さんの作品の質は年々着実にグレードアップされてきていると嬉しく感じております。
2020年は東京オリンピックで盛り上がっていますが、それに負けないように全東京写真連盟のポートレート写真も更なる優れた作品を期待しております！！

2020年1月22日　　ＨＡＲＵＫＩ